

記者発表(資料配布)

月/日	担当課(室)係名	TEL(代表)	発表者名	資料配布先
11/8 (木) 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559) 2001	次長 石田弘明 (課長 小山恵介)	県教委記者クラブ 三田市政記者クラブ

京都市左京区龍岸寺における企画展

「仏教と自然 Where culture meets nature～日本文化を育んだ自然～」の開催について

1 主旨

2019年 ICOM 京都大会や 2020年オリンピック・パラリンピックの開催が機会となり、我が国の伝統文化や歴史的建造物(=レガシー)の活用への期待が高まっています。

本企画では、国内各地の自然史博物館が協力し、歴史的建造物がもつ空間の趣と自然史標本のもつ美しさを融合させて、日本の自然と文化の関わりを伝える展示会を京都市下京区の龍岸寺にて開催します。

これまでのシリーズでは、町家や酒蔵で展開してきましたが、今年は寺院を舞台に仏教と自然との関わりをテーマとしました。仏教の教えは、生物や自然界の仕組みとも密接な関わりがあり、仏教の自然観は自然科学の原理と合符するところも多く、人類が自然と共生して暮らしてゆく上でも大切な視点をもたらしてくれます。寺は長らく地域コミュニティの核の一つであり、町人の子弟に読み書きそろばんを教える学校の役割もはたしていました。会場となる龍岸寺は、日本の天文学の開祖である渋川春海ゆかりの地でもあり、自然科学とも深く関わっています。

展示会では、仏教とゆかりのある動植物や祭礼で利用される自然由来のもの、建物やお墓で利用されてきた岩石、動植物の進化の歴史、日本最古の天球儀のプロジェクトンマッピングを展示いたします。関連するセミナーも多数行います。

また、展示の技術の面でも実験的な取り組みを行います。実際の寺院を利用するため、急な法要が行われることも想定されますが、こうした際にも、展開も収納も短時間で行える展示のパッケージ化を目指します。本企画が、国内各地の地域資源を掘り起こす一助となれば幸いです。

2 展示概要

- (1) 期間 : 平成30年12月14日(金)～24日(月・祝)
- (2) 場所 : 龍岸寺(〒660-8247 京都市下京区塩小路通大宮東入八条坊門町564)
- (3) 開館時間 : 10時～18時(入場は17時30分まで。最終日は16時まで)

3 開催主体

- (1) 主催 : 自然史レガシー継承・発信実行委員会
(構成館: 北海道博物館、栃木県立博物館、国立科学博物館、三重県総合博物館、伊丹市昆虫館、大阪市立自然史博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、事務局: 兵庫県立人と自然の博物館 計8館)
- (2) 協力 : 浄土宗龍岸寺、臨済宗妙心寺派長光山陽岳寺、大阪市立科学館、きしわだ自然資料館、お寺で宇宙学実行委員会、香老舗松栄堂、ダジック・チーム(京都大学大学院理学研究科・地球惑星科学輻合部可視化グループ)、京都大学総合博物館、京都薬科大学薬用植物園
- (3) 後援 : 京都府、兵庫県教育委員会、ICOM 京都大会 2019 組織委員会、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク、特定非営利活動法人大阪自然史センター
- (4) その他 : 平成30年度文部科学省生涯学習局「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」の委託事業として実施いたします。

4 展示コンセプト

- (1) 渋川春海が見た宇宙、春海が作成した日本天球図のダジックアース
- (2) 星座になった生き物
- (3) 仏典に出てくる動物
- (4) 仏教にゆかりの深い植物
- (5) 動物の系統樹曼荼羅

5 展示構成

- (1) 渋川春海が見た宇宙
渋川春海は日本初の天文学者で日本初の暦を作った人物である。会場の龍岸寺は渋川の実家の跡地にあるため、渋川の功績と彼がつくった天球図の紹介を行う。
- (2) 星座になった生き物
渋川がつくった日本独自の星座は、中国星座に似せて国の職階が多く使われているが、なかにはオオカミやコウノトリ等、生き物の星座も登場する。星座になった生物を紹介する。
- (3) 仏教にゆかりの深い植物
仏教は元来樹木崇拝が盛んなインドで誕生し、仏教にも数多くの植物が登場する。釈迦が悟りをひらいた菩提樹、入滅した沙羅双樹などの植物標本、また仏像や線香の材料になる植物を紹介する。
- (4) 仏典に登場する動物
仏教の教えには、数多くの身近な動物も登場する。仏教でどう取り上げられているかという解説と共に標本を展示する。
- (5) 動物の系統樹曼荼羅
単細胞生物から人間まで、長い動物進化の歴史を曼荼羅と標本で紹介する。

6 関連するセミナー

別紙参照

7 問い合わせ担当

兵庫県立人と自然の博物館
自然史レガシー継承・発信委員会事務局
三橋弘宗、高野温子
TEL : 079-559-2001 (代表)
FAX : 079-559-2007

〔別紙〕 関連するセミナー

開催期間中の土日祝（12/15, 16, 22, 23, 24）に下記の公開講座を複数回開催する。

【公開講座】（※事前申込制。参加無料。申し込み方法は下記をご覧ください。）

(1) 脊椎動物がたどってきた道-多様化、大量絶滅、そして多様化

開催日時：平成30年12月15日（土） 15:00~16:00

集合場所：龍岸寺

講師：太田英利（兵庫県立人と自然の博物館）ほか

定員：30名

内容：脊椎動物の進化の歴史を、化石の証拠とDNAの情報にもとづいて再構築してみると、まさに“諸行無常、盛者必衰”の物語をさまざまなレベルでくり返してきていることがわかります。この機会に脊椎動物の歴史をざっと振り返ってみたいと思います。またその先にあるいまの状況、そして今後のことについても考えてみましょう。

(2) お寺で「生命と心」を考える

人は心をもった生き物ですが、野生生物や岩石やモノにも心は宿ると言います。自然科学と仏教の考え方を通じて、生命と心、そして供養の在り方を考えてみませんか。

司会・コメンター：中瀬 勲（兵庫県立人と自然の博物館 館長）

開催日時：平成30年12月16日（日） 15:00~17:00

会場：龍岸寺

定員：30名

ア. 動物の死生観

講師：林 良博（国立科学博物館 館長）

内容：ペットは自分が置かれた環境をどう認識しているのでしょうか。例えば飼い主が死んでしまったら、その死を理解することはできるのでしょうか？

イ. 日本人と悉有仏性~動物供養から怪獣供養・iPhone 供養まで

講師：池口龍法（龍岸寺 住職）

内容：ペットや動物の供養もあれば、人形、ウルトラマンの怪獣、最近では携帯電話まで、供養の仕方は様々です。こうした多様性から供養の本質を探ってみます。

(3) お墓の石の今と昔

開催日時：平成30年12月22日（土） 15:00~16:00

会場：龍岸寺

講師：先山徹（兵庫県立大学 准教授・山陰海岸ジオパーク学識専門員）

大北和彦（おおきた石材店・1級お墓ディレクター）

定員：30名

内容：古墳時代の石棺にはじまり中世~近世の五輪塔や宝篋印塔など、お墓には日本各地の石が使われてきました。近年は海外のものが多く使われている墓石ですが、ここでは石材の歴史を通して、日本の石を見直してみましょう。

(4) 初代幕府天文方・渋川春海が見た宇宙

開催日時：平成30年12月22日(土) 16:00~17:00

会場：龍岸寺

講師：嘉数次人(大阪市立科学館 学芸課長)

定員：30名

内容：会場となる龍岸寺は、日本の天文学の開祖である渋川春海邸の跡地です。この地で生まれた国内最古の天球儀や当時の天文学について解説いただきます。

(5) 京都の昔を古地図と現代技術でめぐる

開催日時：平成30年12月23日(日) 13:30~16:00

集合場所：龍岸寺

定員：20名

内容：300年前の地図をもとに、現在の龍岸寺周辺を散策します。江戸時代に思いをはせながら京都の街を歩いてみませんか？

演者：高橋徹(株式会社Stroly)

(6) お寺で宇宙学

開催日時：平成30年12月24日(月・祝) 15:00~16:00

会場：龍岸寺

定員：30名

* お寺で宇宙学実行委員会との共同企画となります。

ア. 天空から地球環境を読みとく

講師(科学者)：伊勢武史(京都大学フィールド科学研究所 准教授)

内容：環境問題はスケールの大きな問題。空から見ることはとても役に立ちます。今回は、人工衛星や人工知能を使って自然環境の現状把握に役立つ研究を紹介します。

イ. 浄土双六で学ぶ仏教の世界観

講師(お坊さん)：向井真人(臨済宗妙心寺派陽岳寺 副住職)

内容：江戸時代のお坊さんが仏教について学べる教材「浄土双六」を現代風にアレンジしました。その内容と意義についてお話しします。

ウ. 車座で討論会

コーディネーター：磯部洋明(京都大学宇宙総合学研究ユニット/京都市立芸術大学)

■申し込み先

当館ホームページ(<http://www.hitohaku.jp>)のセミナー申し込みページよりお申し込みください。

開催1週間前が締め切りとなります。申し込み多数の場合は抽選となります。FAX、E-mailでの申し込みにつきましては、ご希望の講座名、氏名(フリガナ)、住所、電話番号を添えて、下記の申し込み先までご連絡ください。

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目

兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習課セミナー係

Fax: 079-559-2033 e-mail: seminar@hitohaku.jp

日本文化を育んだ自然



企画展 仏教と自然

Where cultures meets nature

2018.12.14 金 — 12.24 月祝
fri *mon*

10:00 — 18:00 (17:30 in) ※最終日は16時まで

会場：浄土宗龍岸寺 *Ryuganji*

入場料：無料

関連オープンレクチャーもごございます。詳細はHP (<http://www.hitohaku.jp>)をご覧ください。

※入場者多数の場合は入場制限を行うことがあります。

※会場には駐車場はございません。ご来場の際にはご理解の上、公共交通機関等をご利用ください。



京都市下京区塩小路通大宮東入八条坊門町 564

主催：自然史レガシー継承・発信実行委員会

(構成館：北海道博物館、栃木県立博物館、国立科学博物館、三重県総合博物館、伊丹市昆虫館、大阪市立自然史博物館、北九州市立自然史・歴史博物館 事務局：兵庫県立人と自然の博物館)

協力：浄土宗龍岸寺、臨濟宗妙心寺派陽岳寺、大阪市立科学館、さしわだ自然資料館、お寺で宇宙学実行委員会、香老舗松栄堂、ダジック・チーム(京都大学大学院理学研究科・地球惑星科学統合部可視化グループ)、京都大学総合博物館、京都薬科大学薬用植物園

後援：京都府、兵庫県教育委員会、ICOM 京都大会 2019 組織委員会、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク、特定非営利活動法人大阪自然史センター

《平成30年度文部科学省生涯学習局「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」の委託事業として実施いたします。》



日本文化を育んだ自然

企画展 仏教と自然

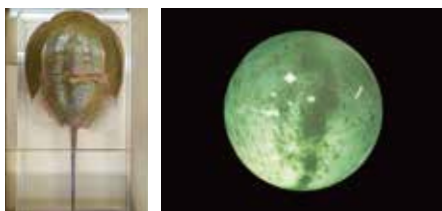
Where culture meets nature



龍岸寺は浄土宗の寺院で、元和2年(1616)に、僧 三哲(安井算哲/源連社長譽三哲和尚)により開かれました。安井算哲は、江戸幕府初代天文方となった渋川春海の父親でした。春海自身も、晩年江戸に移住するまでは龍岸寺にあった屋敷に住んでいました。

Exhibition

動物の系統樹曼荼羅
仏典に登場する動物
仏教にゆかりの深い植物
星座になった生き物
渋川春海が見た宇宙



Purpose

2019年 ICOM 京都大会や 2020年オリンピック・パラリンピック開催を契機に、我が国の伝統文化や歴史的建造物活用への期待が高まっています。本企画展は、全国の自然史系博物館8館が協力し、歴史的建造物がもつ空間の趣と自然史標本の美しさを融合させ、日本の自然の魅力と価値を効果的に伝える展示手法を模索する試みです。一昨年の京町家、昨年度の酒蔵に続き、今回はお寺が舞台です。寺小屋で仏教と自然の関わりについて学んで頂くイメージで、展示を企画致しました。皆様のご来場をお待ちしております。

Open lecture

※事前申込制・参加無料

脊椎動物がたどってきた道 —多様化、大量絶滅、そして多様化

12月15日|土| 15:00-16:00

会場：龍岸寺 定員：30名

太田英利(兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員)他

お寺で「生命と心」を考える

人は心をもった生き物ですが、野生生物や岩石やモノにも心は宿ると言います。自然科学と仏教の考え方を通じて、生命と心、そして供養の在り方を考えてみませんか。

12月16日|日| 15:00-17:00

会場：龍岸寺 定員：30名

司会・コメンテーター：

中瀬 勲(兵庫県立人と自然の博物館 館長)

ア) 動物の死生観

林 良博(国立科学博物館 館長)

イ) 日本人と悉有仏性

～動物供養から怪獣供養・iPhone供養まで

池口龍法(龍岸寺 住職)

お墓の石の今と昔

12月22日|土| 15:00-16:00

会場：龍岸寺 定員：30名

先山 徹(兵庫県立大学 准教授

山陰海岸ジオパーク学識専門員)

大北和彦(おおきた石材店・1級お墓ディレクター)

初代幕府天文方・渋川春海が見た宇宙

12月22日|土| 16:00-17:00

会場：龍岸寺 定員：30名

嘉数次人(大阪市立科学館 学芸課長)

京都の昔を古地図と現代技術でめぐる

12月23日|日| 13:30-16:00

集合場所：龍岸寺 定員：20名

高橋 徹(株式会社Stroly 取締役会長)

お寺で宇宙学

お寺で宇宙学実行委員会とのジョイント企画となります。

12月24日|月・祝| 15:00-18:00

会場：龍岸寺 定員：30名

ア) 天空から地球環境を読みとく

伊勢武史(京都大学フィールド科学研究所 准教授)

イ) 浄土双六で学ぶ仏教の世界観

向井真人(臨済宗妙心寺派陽岳寺 副住職)

申込方法

兵庫県立人と自然の博物館HP(<http://www.hitohaku.jp>)のセミナー申し込みページよりお申し込みください。開催1週間前が締め切りとなります。申し込み多数の場合は抽選となります。FAX、E-mailでの申し込みにつきましては、ご希望の講座名、氏名(フリガナ)、住所、電話番号を添えて、下記の申し込み先までご連絡ください。

[申込先]〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘 6 丁目
兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習課セミナー係
Fax : 079-559-2033 e-mail : seminar@hitohaku.jp